

(埼玉県委託事業)

令和4年度

薬局のかかりつけ機能強化推進事業

報告書

オンライン服薬指導の推進

令和5年3月

一般社団法人埼玉県薬剤師会

目 次

1. 背景	P. 1
2. 目的	P. 1
3. オンライン服薬指導に関する研修会の実施	P. 1
4. アンケート調査の実施	P. 1
5. アンケート調査の結果	P. 2
6. 考察	P. 6
※ 資料	P. 7

 オンライン服薬指導に関する研修会アンケート

1. 背景

オンライン服薬指導は、情報通信機器を活用しつつ実施する服薬指導であり、厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会の「薬機法等制度改革に関するとりまとめ」（平成 30 年 12 月 25 日）を踏まえ、令和元年度に所要の法令改正が行われ、令和 2 年 9 月から施行された。

このような中、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するため、厚生労働省は「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和 2 年 4 月 10 日付け厚生労働省医政局医事課、医薬・生活衛生局総務課事務連絡）を发出し、本来のオンライン服薬指導とは異なる時限的・特例的な対応として、画像のない電話等を用いた服薬指導（いわゆる「0410 対応」）が可能となった。

これらの動き等も含め、オンライン服薬指導等の取扱いに関する見直しが行われ、令和 4 年 3 月 31 日付けで改正省令が公布され、「薬剤師の責任・判断により初回からオンライン服薬指導を実施可能とすること」「オンライン診療・訪問診療において交付された処方箋以外の処方箋においてもオンライン服薬指導の実施を可能とすること」「服薬指導計画の見直し」等が行われた。

オンライン服薬指導の実施にあたっては、その特性を理解した上で有効に活用できるよう適切な体制整備等を行いつつ、患者の個別の状況に応じて薬剤師が薬学的知見に基づき適切に対応することが求められている。

2. 目的

オンライン服薬指導の対応ができる薬局の整備を目的として、オンライン服薬指導に対応できる薬剤師の育成強化を図る。

3. オンライン服薬指導に関する研修会の実施

下記のとおりオンライン形式で 1 回実施した。

日程：令和 4 年 7 月 31 日（日）

形式：zoom を使用したオンライン形式

内容：(1) 薬剤師のための法的知識

～薬機法改正・リフィル処方箋・オンライン服薬指導～（80 分）

中外合同法律事務所 弁護士 赤羽根 秀宜

(2) 薬局の DX 化について（80 分）

厚生労働省医薬・生活衛生局総務課

薬事企画官／医薬情報室長 太田 美紀

4. アンケート調査の実施

上記研修会受講者を対象に、終了時に研修会の効果を検証するためのアンケート調査を実施した。

5. アンケート調査の結果

受講者 335 名中 272 名から回答があった。

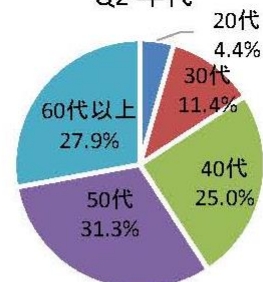
Q1. 埼玉県薬剤師会会員区分

会員	224
非会員	48

Q1 埼玉県薬剤師会会員区分



Q2 年代



Q2. 年代

20代	12
30代	31
40代	68
50代	85
60代以上	76

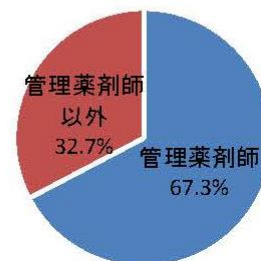
Q3. 勤務年数

3年未満	10
3～5年未満	8
5～10年未満	26
10～20年未満	72
20年以上	156

Q3 勤務年数



Q4 管理薬剤師か否か

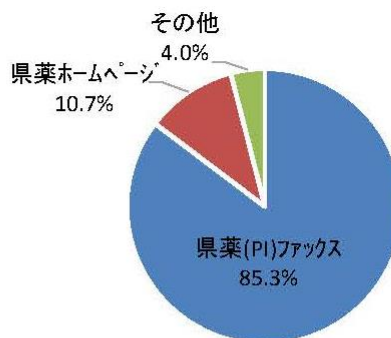


Q4. 管理薬剤師か否か

管理薬剤師	183
管理薬剤師以外	89

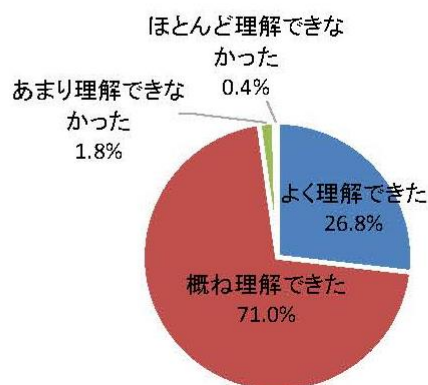
Q5. 研修会を何で知ったか?

県薬(PI)ファックス	232
県薬ホームページ	29
その他	11



Q6. 制度は理解できたか?

よく理解できた	73
概ね理解できた	193
あまり理解できなかった	5
ほとんど理解できなかった	1



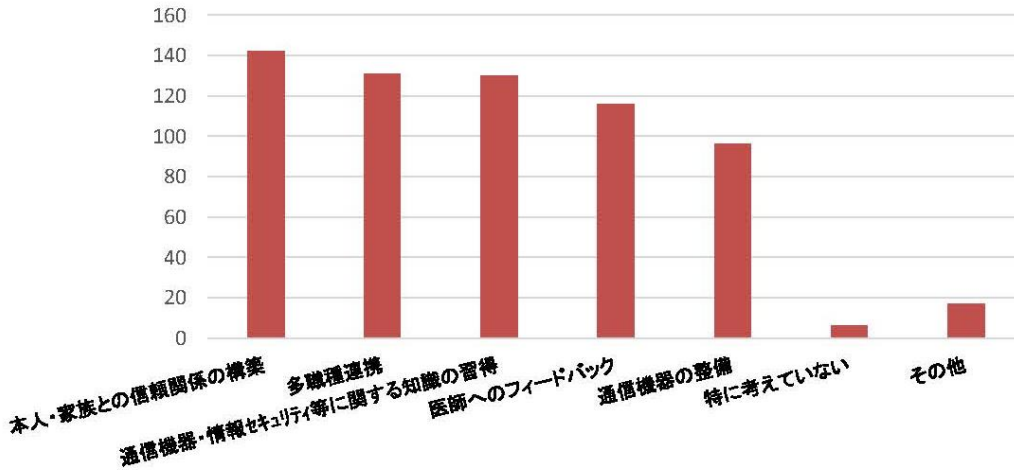
Q7. 今後の業務に役立てることができるか？

できる	76
概ねできる	176
できない	3
わからない	17



Q8. 明日からどのような行動をしようと思うか？（複数回答可）

本人・家族との信頼関係の構築	142
多職種連携	131
通信機器・情報セキュリティ等に関する知識の習得	130
医師へのフィードバック	116
通信機器の整備	96
特に考えていない	6
その他	17

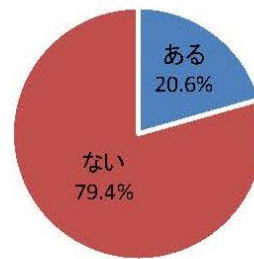


<その他の理由>

薬剤レビューのやり方を他のスタッフに共有
薬局従業員への周知徹底(勉強会の実施予定)
薬局間連携
オンライン服薬指導も行なっていることの周知、医療安全対策の実施手順の再確認
店舗スタッフへの周知、体制整備
勤務先経営陣への周知
地域薬剤師会での活動
同僚スタッフの薬剤師に、今日の講習内容を伝えて、今後の業務について考える
地域連携
本人、家族との信頼関係は、問題ない方が沢山いらっしゃる、医師へのフィードバックも最近、少しずつ行えているので、通信機器に関して進めて行こうと思いました。
薬局スタッフに本日の内容のお知らせ(勉強会企画)をし今後の調剤業務に生かす
新たに得た情報はなかった。
職場での薬剤師、開設者との連携
調剤後のフォローをさらに意識していく
フォローアップ、薬学的知見に基づき指導とは、DXの今後
局内で本日の伝達講習
薬歴の意義と再構築

Q9. オンライン服薬指導をしたことがあるか？

ある	56
ない	216



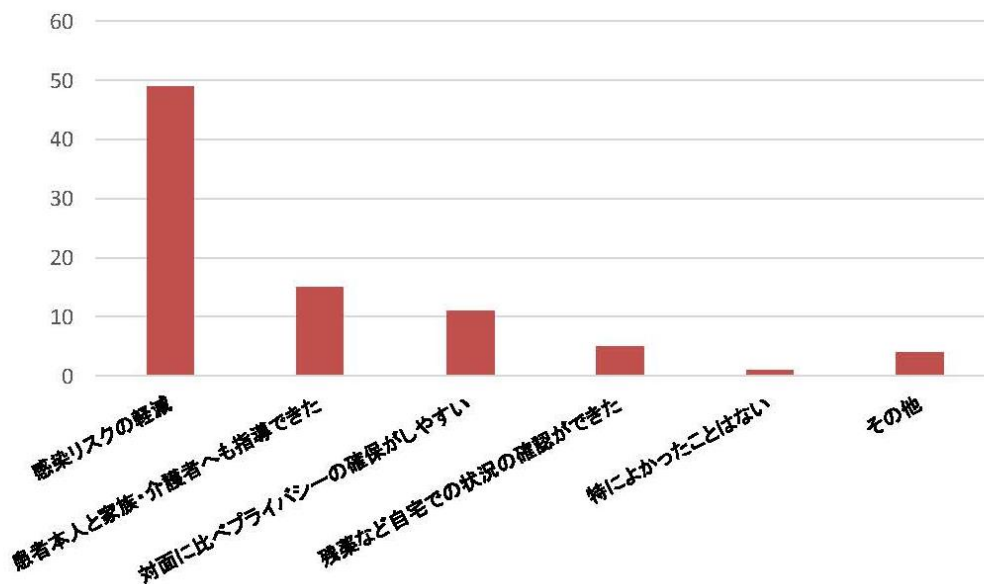
Q10. その患者はかかりつけか？ (Q9：ある) n=56

はい	10
いいえ	33
両方	13



Q11. オンラインで服薬指導をしてよかったこと (複数回答可) (Q9：ある) n=56

感染リスクの軽減	49
患者本人と家族・介護者へも指導できた	15
対面に比べプライバシーの確保がしやすい	11
残薬など自宅での状況の確認ができた	5
特によかったことはない	1
その他	4



※その他の理由

信頼関係の構築

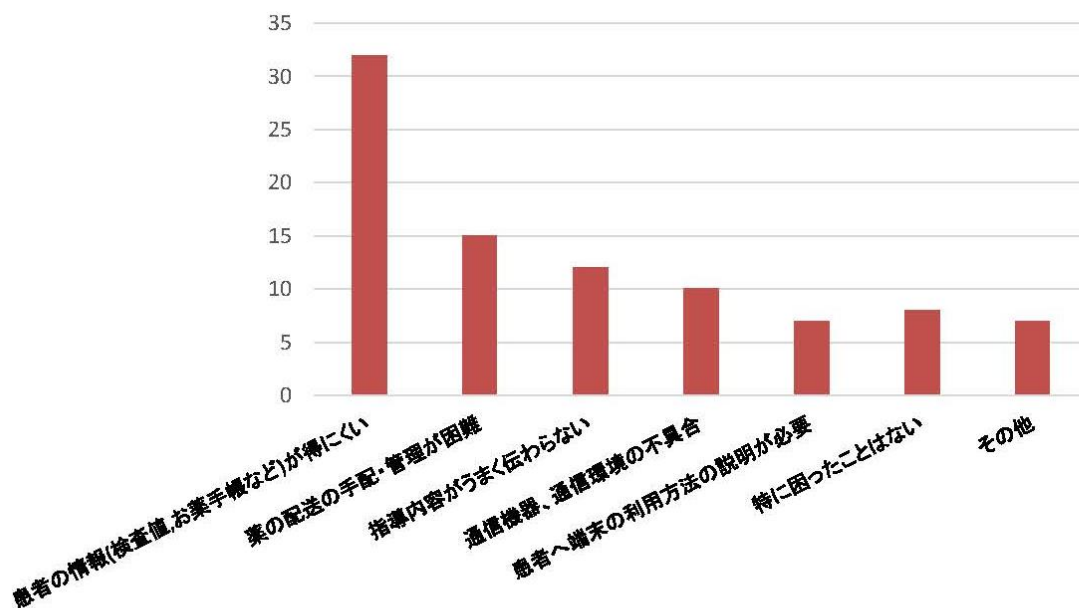
服薬後の副作用の有無が早く確認できた

0410対応。COV自宅、宿泊を毎日電話で指導している。保健所や行政から情報がリアルタイムで来ない中、不安に感じている患者への服薬指導だけでなく、ケアを行っている。60%が他院患者の新患。

電話での相談指導はかなり多くあります

Q12. オンラインで服薬指導をした際に困ったこと（複数回答可）（Q9：ある）n=56

患者の情報(検査値, お薬手帳など)が得にくい	32
薬の配送の手配・管理が困難	15
指導内容がうまく伝わらない	12
通信機器、通信環境の不具合	10
患者へ端末の利用方法の説明が必要	7
特に困ったことはない	8
その他	7



<その他の理由>

通常服薬指導より手間がかかり、結果的に業務時間が増える。
 電話をかけても繋がらない、ショートメールの返信がない
 通信機器が電話しかなく会社の整備ができていない。薬剤師への情報は講演会、研修会等多々機会はあるが、会社経営者向けの研修会を実施し経営者にしっかり理解して頂きたい。その努力が行政は必要ではないか。そうでないと整備ができていない中、現場薬剤師のみ肉体的のみならず精神的負担が大きくなる。
 触れることもできず、患者の具体的な体の変化(顔色、むくみ等)の把握が困難。
 0410処方電話対応だったため指導内容が正しく伝わっているかの確認が難しかった。
 電話、FAX、メール、家族対応なので 本人の様子が直接見えない
 今後本来のオンラインについて勉強していきたい

6. 考察

アンケート回答者のうち、オンライン服薬指導の実状について、オンライン服薬指導を行ったことがあると回答したのが約 2 割にとどまり、実施経験のある薬剤師は少ない状況であるが、薬剤師の意識として、オンライン服薬指導に関する制度への理解度は、よく理解できた、概ね理解できたと回答したのが約 98%を占め、制度に関する知識の習得に効果があったと考えられる。

また、明日からの行動について、通信機器や情報セキュリティ等に関する知識の習得や、他のスタッフへの周知など、意欲的な意見が多くみられ、オンライン服薬指導に対する意識が高まっていることが示唆された。

その一方、オンライン服薬指導推進の妨げとなる点として、体制の整備が会社の意向に大きく左右されることが示され、オンライン服薬指導を推進するためには、開設者へのアプローチが必要であることが示唆された。

実際にオンライン服薬指導を実施したことのある薬剤師の意見として、オンライン服薬指導をして良かった点について、感染リスクの軽減が一番多かったことは、コロナ禍での服薬指導が大きく影響していると思われる。

また、患者の情報を得ることや、医薬品の配送、管理面に苦慮するケースが多いことから、実際にオンライン服薬指導を実施している薬剤師から、好事例などもふくめて実務的なテクニックについて情報提供をすることが有用であると考えられる。

埼玉県内の全ての薬局で、オンライン服薬指導に対応できる体制の整備を目指して、今回の研修で得た制度等に関する知識を基に、今後は、実践的な研修を開催する等、継続的に研修会を開催し、かかりつけ薬剤師・薬局として薬剤師を育成していく必要がある。

オンライン服薬指導に関する研修会アンケート

1. 埼玉県薬剤師会会員区分

会員 非会員

2. 年代

20代 30代 40代 50代 60代以上

3. 薬局薬剤師としての勤務年数

3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10～20年未満 20年以上

4. 管理薬剤師か否か

管理薬剤師 管理薬剤師以外の薬剤師

5. この講習会を何で知りましたか？

県薬ファックス(PIファックス) 県薬ホームページ その他

6. オンライン服薬指導の制度は理解できましたか？

よく理解できた 概ね理解できた あまり理解できなかった ほとんど理解できなかった

7. 本日の研修を今後の業務に役立てることができますか？

できる 概ねできる できない わからない

8. 本日の研修を受講し、明日からどのような行動をしようと考えていますか？

本人・家族との信頼関係の構築 医師へのフィードバック 多職種連携

通信機器の整備 通信機器・情報セキュリティ等に関する知識の習得 特に考えていない

その他()

9. 今までにオンラインで服薬指導をしたことがありますか？

ある ない(「ない」の場合、ここで終了)

10. その患者はかかりつけですか？

はい いいえ かかりつけの患者とそうでない患者両方

11. オンラインで服薬指導をしてよかったことはどのようなことですか？(複数回答可)

患者本人と家族・介護者へも指導できた 残薬など自宅での状況の確認ができた

対面に比べプライバシーの確保がしやすい 感染リスクの軽減

その他(以下に内容記入) 特によかったことはない

[]

12. オンラインで服薬指導をした際に困ったことはどのようなことですか？(複数回答可)

通信機器、通信環境の不具合 患者へ端末の利用方法の説明が必要

指導内容がうまく伝わらない 患者の情報(検査値、お薬手帳など)が得にくい

薬の配送の手配・管理が困難

その他(以下に内容記入) 特に困ったことはない

[]